

復興の終息見据える

ヤマコン 処遇改善で技能者確保

被災3県（宮城、福島、岩手）の震災復興工事は終盤を迎えている。三陸や福島県相双地域では関連工事が残っているが、仙台市やいわき市など都市部では復興工事はほぼ終えている。建設業界では仙台駅西口再開発工事や福島、いわきでの民間開発工事に期待を寄せている。

生労働省の「健康経営優良法人2020」を取得し、社員の健康管理や安全衛生の強化も図る。

また、同社は震災で被災し、復旧した経験を踏まえ、有事の事業継続力強化に努めてきた。その一環でBCP（事業継続計画）を策定するとともに、2018年には国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）を取得している。このほど、同認証の更新を行い、「社会貢献」が新たに追加された。

被災3県（宮城、福島、岩手）の震災復興工事は終盤を迎えている。三陸や福島県相双地域では関連工事が残っているが、仙台市やいわき市など都市部では復興工事はほぼ終えている。建設業界では仙台駅西口再開発工事や福島、いわきでの民間開発工事に期待を寄せている。

大手コンクリート圧送業者のヤマコン（山形市、佐藤隆彦社長）は、宮城、福島両県に営業所を構え、現在も復興工事に携わっている。復興工事は終息を見据え、大型工事の圧送工事受注を強化しているほか、技能者不足への対応や処遇改善を進めている。また、厚

佐藤社長は処遇改善について「当社では全技能職員を建設キャリアアップシステム（CUS）に登録を完了した。技能者不足も定年再雇用制度で65歳まで現役待遇を継続し、雇用の確保に努めている。技能職の新卒採用も継続的に実施してい

る」と語っている。また、同社は震災で被災し、復旧した経験を踏まえ、有事の事業継続力強化に努めてきた。その一環でBCP（事業継続計画）を策定するとともに、2018年には国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）を取得している。このほど、同認証の更新を行い、「社会貢献」が新たに追加された。

被災3県（宮城、福島、岩手）の震災復興工事は終盤を迎えている。三陸や福島県相双地域では関連工事が残っているが、仙台市やいわき市など都市部では復興工事はほぼ終えている。建設業界では仙台駅西口再開発工事や福島、いわきでの民間開発工事に期待を寄せている。

岩手県宮古地区では三陸道周辺の工事が行われているが、他の地区の大型工事は終息し

現在も復興工事が続くのは宮城県では気仙沼地区や石巻地区、岩

協同組合が共同で自治体との災害時における消防活動応援に関する協定を締結している。17年に山形市、18年に天童市、今年3月には上山市（写真）とそれぞれ締結した。18年から生コンと共同で総合防災訓練に参加しており、圧送と生コンとの連携による社会貢献活動も注目されている。佐藤社長は「自治体・生コン・圧送の3者が合同で協定を締結するのは珍しく、先進的な取り組みだと思う。今後起こり得る災害に備えることも重要なことだと思う」と述べ、災害時に市民の役に立つ業界を目指している。

被災3県（宮城、福島、岩手）の震災復興工事は終盤を迎えている。三陸や福島県相双地域では関連工事が残っているが、仙台市やいわき市など都市部では復興工事はほぼ終えている。建設業界では仙台駅西口再開発工事や福島、いわきでの民間開発工事に期待を寄せている。

岩手県宮古地区では三陸道周辺の工事が行われているが、他の地区の大型工事は終息し

現在も復興工事が続くのは宮城県では気仙沼地区や石巻地区、岩

協同組合が共同で自治体との災害時における消防活動応援に関する協定を締結している。17年に山形市、18年に天童市、今年3月には上山市（写真）とそれぞれ締結した。18年から生コンと共同で総合防災訓練に参加しており、圧送と生コンとの連携による社会貢献活動も注目されている。佐藤社長は「自治体・生コン・圧送の3者が合同で協定を締結するのは珍しく、先進的な取り組みだと思う。今後起こり得る災害に備えることも重要なことだと思う」と述べ、災害時に市民の役に立つ業界を目指している。

被災3県（宮城、福島、岩手）の震災復興工事は終盤を迎えている。三陸や福島県相双地域では関連工事が残っているが、仙台市やいわき市など都市部では復興工事はほぼ終えている。建設業界では仙台駅西口再開発工事や福島、いわきでの民間開発工事に期待を寄せている。

岩手県宮古地区では三陸道周辺の工事が行われているが、他の地区の大型工事は終息し

現在も復興工事が続くのは宮城県では気仙沼地区や石巻地区、岩

協同組合が共同で自治体との災害時における消防活動応援に関する協定を締結している。17年に山形市、18年に天童市、今年3月には上山市（写真）とそれぞれ締結した。18年から生コンと共同で総合防災訓練に参加しており、圧送と生コンとの連携による社会貢献活動も注目されている。佐藤社長は「自治体・生コン・圧送の3者が合同で協定を締結するのは珍しく、先進的な取り組みだと思う。今後起こり得る災害に備えることも重要なことだと思う」と述べ、災害時に市民の役に立つ業界を目指している。

被災3県（宮城、福島、岩手）の震災復興工事は終盤を迎えている。三陸や福島県相双地域では関連工事が残っているが、仙台市やいわき市など都市部では復興工事はほぼ終えている。建設業界では仙台駅西口再開発工事や福島、いわきでの民間開発工事に期待を寄せている。

岩手県宮古地区では三陸道周辺の工事が行われているが、他の地区の大型工事は終息し

現在も復興工事が続くのは宮城県では気仙沼地区や石巻地区、岩

協同組合が共同で自治体との災害時における消防活動応援に関する協定を締結している。17年に山形市、18年に天童市、今年3月には上山市（写真）とそれぞれ締結した。18年から生コンと共同で総合防災訓練に参加しており、圧送と生コンとの連携による社会貢献活動も注目されている。佐藤社長は「自治体・生コン・圧送の3者が合同で協定を締結するのは珍しく、先進的な取り組みだと思う。今後起こり得る災害に備えることも重要なことだと思う」と述べ、災害時に市民の役に立つ業界を目指している。



上山市で3例目の支援協定を締結した